

# 日中両国からの声 2021

～図書提供者、図書活用者～



## 目 次

### ◆日本の図書提供者からの声

日本科学協会 顧問	大島美恵子 .....	4
東京学芸大学 名誉教授	谷部弘子 .....	4
早稲田大学 名誉教授	川口義一 .....	5
公益財団法人 国際文化フォーラム シニア・プログラム・オフィサー	長江春子 .....	5

### ◆中国の図書活用者からの声

#### ・原文日本語

大連外国語大学 日本語学院 4年	冉沁霖 .....	7
北京大学 考古文博学院 .....		8

#### ・原文中国語（日本語訳）

雲南民族大学 外国語学院日本語学科 4年	紀宗伯 .....	9
浙江越秀外国語学院 文献建設部主任	孫旭萍 .....	9
浙江越秀外国語学院 図書館 .....		10
山東大学（威海）東北アジア学院日本語学部 4年	初昕蔚 .....	13
山東大学（威海）東北アジア学院日本語学部 4年	姚心語 .....	14
山東大学（威海）東北アジア学院日本語学部 4年	李文心 .....	15
山東大学（威海）東北アジア学院日本語学部 4年	王冠 .....	15
山東大学（威海）東北アジア学院日本語学部 4年	何雨珊 .....	16
山東大学（威海）東北アジア学院日本語学部 4年	黄凱源 .....	17
山東大学（威海）文化伝播学院	鄭劭雯 .....	17
山東大学（威海）東北アジア学院南北朝鮮専攻 4年	馬心蕊 .....	18
西安外国語大学 図書館 図書目録担当	馮嬌 .....	19
南開大学 日本語学部 副教授	蔣雲斗 .....	19

◆中国における活用促進活動

1. オンライン：SNS等を活用（4大学、13回） ..... 22
  - (1) 西安外国語大学 図書館 2021年5月27日（公式 Wechat）
  - (2) 北華大学 図書館 2021年6月24日（公式 Wechat）
  - (3) 北京大学 図書館 2021年7月23日（HP）
  - (4) 上海外国語大学 日本語学院 2021年6月～現在  
約1か月に1回で更新（公式 Wechat）
  
2. オフライン：図書館内で寄贈図書展を開催（1大学、1回） ..... 23  
吉林外国語大学 図書館 2021年5月23日～6月13日
  
3. 活動の様子 ..... 23

## ◆日本の図書提供者からの声

### 日中を繋ぐ善意の図書



日本科学協会  
顧問 大島美恵子

日本科学協会の事業の柱の1つに、日中交流プロジェクトがあります。今年で21年目を迎えるこのプロジェクトの始まりは図書寄贈です。図書を通じて日本の文化や友好の思いを伝えるため、日本中から善意の図書を募り、20年前、初めて海を渡った2万冊あまりの図書は南京大学をはじめ10大学に届けられました。そして、現在寄贈先は78大学、390万冊を超えております。

私自身も僅かながら、研究書等を寄贈させて頂いており、日本科学協会の多くの先生方からも、特に理系図書のご寄付をいただいております。毎回、どの愛読書を寄贈するか選ぶ際、本との思い出も蘇る中、これらの日本で使われた本が、遠い中国のどこかの図書館で、どなたかの手に取ってもらえる日が来るかと思うと、心が温かくなります。きっと他の寄贈者の方々も同じ思いではないでしょうか。今回、この寄贈図書特別展を通して、普段はあまりお伝えすることのできない日本の寄贈者側の思いを僅かながら南京大学の皆様にお伝えし、図書館の中にある寄贈図書に少しでも目を向けて頂ければ幸いです。

今後もこの有意義なプロジェクトを更に発展させるためにも、皆さまのお知り合いの日本在住の方で、寄贈図書に興味を持ってくださるような方がおられましたら、ぜひ私ども日本科学協会の活動をお伝えください。私たちは、責任を持って日本の図書を中国の大学図書館へ届けるお手伝いをさせていただきます。

### 40年後の恩返し

東京学芸大学  
名誉教授 谷部弘子



大学で第2外国語として中国語を学んだ私が、はじめて中国を訪れたのは大学を卒業して1年半後の1976年でした。以来、疎密はありながら、中国との関わりを持ち続けています。中でも、かけがえのない時空間となったのが、「中国日本語研修センター」<日语教师培训班>での日々でした。中国の大学で日本語を教え

ている日本語教師の再研修を1期120名、5期5年にわたって行うという日本政府の対中国プロジェクトで、当時の首相・大平正芳氏の名前をとって<大平班>と呼ばれています。ここに、長期・短期合わせて延べ120名の日本語・日本文学等の研究者や日本語教師が派遣されました。新米教師の私もその一人で、第1期の1980年夏から3年間を北京で過ごしました。<大平班>に全国からやってきた研修生は年齢・経歴・職場での地位等実にさまざまでした。とくに、第1期の研修生の多くから共通して感じられたのは、10年の文革期を経ての「取り戻したい」「学びたい」という焦燥感と渴望で、40年経った今でも北京語言大学<教三楼>の教室に座る研修生の顔を鮮明に思い

出します。私は研修生のみなさんの勉学に対する姿勢や意欲に後押しされるように、帰国後大学院に進学して学び直し、修了後は大学等で日本語教育・日本語研究の道を歩むことになりました。

今回、退職を機に、所蔵の日本語教材や日本語教育・日本語研究関連の図書・雑誌を、貴会のプロジェクトを通して、寄贈させていただくことにいたしました。〈大平班〉の当時とは打って変わって中国社会は大きな発展を遂げましたが、それでも、専門的な書籍はまだお役に立てる余地があるようです。寄贈先とした湖南大学には大平班の研修生であった日本語科教員の方とのご縁で何度か訪れており、長沙は思い出深い土地の一つです。〈大平班〉の元研修生のみなさんはほとんど退職のご年齢だと思いますが、いくらかでも後輩にあたる若い学生のみなさんのお役に立てるのであれば、大変うれしく思います。今回の図書寄贈は、私にとって 40 年後のささやかな恩返しとも言え、このような機会をいただきました貴会に心より感謝いたします。

老いてなお、〈中日两国，友好下去！〉

早稲田大学  
名誉教授 川口義一



私が「日本科学協会」の日中交流事業の1つ、図書寄贈に協力させていただくことになって、本日である4年になります。

2017年7月25日、渋谷で「大平学校第四期生」有志の集いがあり、私もこれに参加しました。そのとき、参加者のお一人、協会常務理事の顧文君氏から協会の図書寄贈事業支援のお誘いを受け、さっそくその年から寄贈を開始しました。

私と中国との交流は、1981年に〈赴日留学生预备校〉の〈专家〉だった妻に〈探亲〉で長春まで会いに行き、以来継続し、すでに今年で40年になります。その間、30回以上の訪中でいろいろな方々にお世話になりました。その恩返しがこのような形でできれば、すでに年齢70を超えてはいますが、死ぬまで「日中友好」にかかわれると、誇らしく思っています。

私の寄贈図書には、専門の言語学や日本語教育のものが多く、他の寄贈者とは一味違うだろうというのも、ひそかな自慢です。長くご愛用賜れば、幸甚です。

2021年7月25日

### 寄贈者の声



公益財団法人 国際文化フォーラム  
シニア・プログラム・オフィサー 長江春子

公益財団法人国際文化フォーラム（IJF）は、設立以来、ことばと文化と交流をキーワードに、日中青少年間の相互学習、相互交流に注力してまいりました。ことばは交流に不可欠なツールであり、

書籍は知識のみならず文化を伝える媒体であると考え、長年中国の小中高校に多くの日本語の参考書、教材および青少年に適した読み物を寄贈していました。

出版社である講談社は TJF の主な出捐企業です。TJF は 2013 年より毎年、講談社から無償提供された 1 万冊あまりの書籍を、日本科学協会を通じて中国の大学に寄贈しています。これらはすべて今の日本図書市場で売れている新しい書籍です。これを寄贈する目的は、中国の大学において日本語を学ぶ教師と学生の方々に、これらの書籍を読むことを通じて共時的に日本人や日本の文化、社会について理解を深めていただくためです。

中国には古くから「万巻の書を読み、万里の道を行く」（一万冊の本を読んで博学多識になり、一万里の道を旅して体験を積む）ということばがあります。今、世界が新型コロナウイルスの猛襲を受けている非常時期です。日中間の人的行き来にはまだ多くの困難が立ちだかっています。しかし、幸運なことに、私たちには優れた書籍を通じて文化を伝えることができます。書籍は読書嫌いな人にとっては何の役にも立たないものです。しかし、読書好きな人には宝そのものです。我々が寄贈した日本の書籍が中国の大学で一生懸命日本語と日本文化を学ぶ若い方々に愛読されることを願っております。

## ◆中国の図書活用者からの声

### ★原文日本語

#### 日本科学協会からの寄贈図書を利用して

大連外国語大学  
日本語学院 4年  
冉沁霖



入学前に、大連外国語大学の図書館は中国国内の日本語の蔵書量一番多い図書館だと聞いたことがあります。大学が始まって1ヵ月後、基礎日本語の先生はビデオで図書館を紹介することをやらせました。そのため、携帯電話を持って、初めてドキドキに図書館に向かいました。一階、二階…五階までのインテリアや書籍の配置を撮影するときに、日本語図書と中国語図書の数がほぼ同じであることに気づいて、かなり驚きました。そのうち、ほとんどが日本科学協会から無償で寄付されたものです。図書の類も多く、文学作品に限らず雑誌や百科教材などもそれぞれあって、5階はまるで日本地元の小さな図書館のようだと感じました。当時、大学の図書館をよく利用しなければ学費は取り戻せないから、大学の四年間でできるだけ多くの本を読まなければならないと考えました。

大学一年生の時、私は『日本語基礎会話』などの日本語入門教材を借りて読みました。これらの本を通じて、私ははじめから日本人の話し方で日本語を学んで、ある日本の先生が私に日本語らしい日本語を教えてくれたようです。二年生の時に、私は日本語の雑誌を読んで始めました。それで、日本語勉強の面白さを強めるし、百科知識も把握できる、例えば、『富士山のガイドブック』、『日本の地下鉄図鑑』、『日本のファッション雑誌』などを読みました。知らない単語があっても、写真によって理解できるから、醍醐味を見つけ、また日本の社会文明にも大きな興味を持つようになりました。大学三年生になって、日本語のレベルが上がるにつれて、私は徐々にいくつかの専門的な本を読み始めました。例えば、日本語概論の授業の発表を準備する時、私は『日本語の文法論』を借りて読みました。それによって、理論的に体系的に日本語の文法構成を学ぶことができました。あっという間に、今4年生になって、卒業論文の研究方法を決定する際に、先生のアドバイスによって、図書館へアイデアを探しに行った、やはり、大量の文献資料を通じて、私の論文方法も明確にして、同時に多くの先行研究を参考資料として探り当てました。これは忙しい1年で、文献資料を除いて、『伊豆の踊り子』などの有名な著書も読みあがりました。図書館を利用する数年の中で、私は日本語の能力が上がっただけではなく、更に日本の文学、文化、歴史と社会などを理解するようになりました。

日本科学協会の本校図書館への寄付に誠に感謝しています。私たち日本語専攻の学生に豊富な学習資料と「親切」な学習雰囲気を提供してくれてありがとうございます。また、日本語を専攻していない多くの学生にも日本を理解する機会を与えてくれました。中日間の文化交流がより順調になり、それによって中日友好関係が推進されることを強く望んでいます。

2020年12月25日、北京大学考古文博学院は、大塚初重先生ご寄贈の日本科学協会から送付していただいた書籍と雑誌の資料を無事に受け取りました。合計で図書30,018冊、手稿などの資料34,000ページです。この場におきまして日本科学協会に心からの謝意を申し上げます。

大塚初重先生は日本近代考古学を自ら経験したその証人でもあり、一生本を好み学問は深く精密で、その蔵書は日本および東アジアの考古学などの分野を覆うものです。2018年に大塚先生はすべての蔵書を考古文博学院に無償で寄贈したいと申し出られました。この寄贈により北京大学の日本の考古と歴史に関するコレクションが極めて充実し、学科の構築と人材育成が促進されることでしょう。大塚先生、学院とも、書籍と雑誌を早いうちに北京大学の適切な場所に落ち着かせられることを切実に期待していました。

しかし、経費不足により、2018～2019年は書籍と雑誌の整理、保管、輸送の作業が滞ってしまいました。2020年には新型コロナウイルスの猛威に全世界が巻き込まれ、人々の正常な作業や交流に甚大な影響が出ました。この困難が次々と重なる情勢のもと、北京大学図書館と長年協力してきた関係に基づいて、日本科学協会が無償でもろもろの作業を引き受けてくださり、学院はたいへん助かりました。特に顧文君常務理事を主とする作業チームが迅速な対応、積極的な運営、方々との調整により、すばやく確実かつ効率よく資料類を中国に運ぶ前のすべての作業を終えてくださいました。作業を進める中での顧常務理事の入念さ、善良さ、真心が深く印象に残っております。双方の人員も深い友情で結ばれました。2021年、学院図書館は寄贈を受けた書籍と雑誌に捺印、整理、目録作成の処理を行い、できるだけ早く全学の教員や学生に大塚先生のご寄贈と科学協会の公益事業の恩恵を届けます。

末筆ながら、北京大学考古文博学院は改めて日本科学協会の関係者の皆様へ心からの感謝と崇高な敬意を申し上げます。公益には地域も国境もありません。日本科学協会の公益事業がより遠くへ進んでいけますように。考古文博学院はまた、日本科学協会と共に学术交流を展開し、いっそう両国の相互理解を促進して、世界の安定した発展のために貢献したいと願っております。



## ★原文中国語

### 図書を寄贈して下さった日本の皆様へ

雲南民族大学  
外国語学院日本語学科 4年  
紀宗伯  
指導：梅子先生



まず、今回の図書寄贈にとっても感謝しております。目下、国内でまだ入手にくい日本の文献のため、今回の図書寄贈により当地の学生が手に取れる日本の文献資料の範囲が大幅に広がり、日本語学習に多大なる助けとなっています。改めて心から感謝いたします。

まだ本学図書館の寄贈図書は整理途上で、私たち学生が読むことはできませんが、翻訳図書チームの一員として、寄贈図書を頂けたと先生から知らせを受けたときから非常に期待しており、気持ちがはやっています。図書そのものだけでなく、書名の翻訳活動も自分の日本語の技能を鍛練するすばらしい機会なので、迷わず応募しました。翻訳する過程では、先生に学術面、翻訳技能面での助けを求める必要も、自分で辞書や資料を当てる必要もあります。教員と学生の感情を促進するだけでなく、日本語の問題を解決して、関連資料を調べる能力も高まり、一挙多得だと言えます。

また、翻訳する過程で、ご寄贈いただいた書目に文学、自然科学、哲学、生活関連などほぼすべての学術分野が網羅されていることに気づきました。これは教科書から飛び出して、日本の文化を知り、知識を拓けるのに力強い支援となります。

翻訳が終わると、参加したみんながこの上ない達成感を得られ、自身の日本語学習に対する自信を強めて、また日本語学習の楽しみを発掘しました。それもこれも図書寄贈活動のおかげです。4年生で卒業間近なので、引き続き次の活動に参加できないのは残念ですが、後輩達が日本側の皆さんと共にこの活動を続けていって、双方の友情を深め続けてくれることを期待しています。

改めて、今回の図書寄贈に心から感謝を申し上げます。

### 一衣帯水で、歴史が長い

浙江越秀外国語学院  
文献建設部主任 孫旭萍

浙江越秀外国語学院図書館は日本科学協会から長年の多大なるご支持を頂いております。2014年以來たくさんの寄贈図書を頂いており、この場で日本科学協会に心から感謝を申し上げます。

寄贈図書の内容は言語学、文学、哲学、社会科学、教育、歴史、文化など多くの学科をカバーしており、当館の蔵書が充実しました。学術研究、収集、利用の価値があり、教育にも研究にも助けとなっています。特に日本語が専門の学生は、日本語の原書を読むことにより、日本の社会、経済、文化などの各方面の理解や研究に対する興味を奮い立たせて

います。日本語に対する学習と理解がさらに深まり、日本語の水準も向上できています。また、日本科学協会の寄贈図書を通じて、中日友好の橋が架かり、中日両国民の間の友好的往来、平和な世界の共同建設を促進しています。

今年、当館は日本科学協会を通じて立教女学院から7万5千冊以上の書籍を頂きました。蔵書資源の充実と同時に、より多くの読者が大いに利益を受けられると確信しております。

浙江越秀外国語学院図書館は、改めて日本科学協会に心からの感謝と敬意を申し上げます。貴協会が変わることなく本学の発展にご関心ご支持をくださいますよう、より多くの読者がこれらの貴重な知識の財産を共有できるよう期待しております。

## 「笹川杯本を味わい日本を知る作文コンクール 2021」の総括

浙江越秀外国語学院  
図書館

「テキストの美しさを感じ取り、読書の楽しみを享受し尽くして、異国の情緒を感じ、両国の交流を促進する」このコンクールは本学の読者の視野を広げ、日本の社会、経済、文化といった分野に対する理解と研究を深めるだけでなく、活字を通じた交流により中日両国の文化の認識と理解を促進するものです。当館が企画して読者の支持と参与を受けた今回の「本を味わい日本を知る」には102本の応募がありました。このうち本学の応募作品26本が学内の一、二、三等賞を獲得して一等賞2本が決勝に進み、予選の役目を果たしました。今回大会の総括は以下のとおりです。

### 一、十分に重視して適切に実施

「笹川杯本を味わい日本を知る作文コンクール 2021」の通知を受け、当館幹部がこの大会を重んじてワーキンググループを設けました。学内予選計画を定めて手順を細分化し、責任分担を決定して、運営の効率と秩序、公平で公正な展開を確保しています。

### 二、オンライン、オフラインでの全面的な宣伝

当館は微信公式アカウント、公式サイトなど複数のチャンネルを通じて時間や空間の制約を受けないオンラインでの宣伝を行い、周期的告知やカウントダウンなどの手法で大会の開催を広報しました。「他山の石」モデルで今期とそれまでの受賞作品を掲載し応募者の参考に供しています。「本で味わい日本」コンクールを当館の毎年の「読書月間」活動に取り込んで恒例行事化すると同時に、図書館を利用する学生のコミュニティ「図書工作(活動)管理委員会」の組織力を生かしてオフラインでの宣伝も行いました。同輩の中でオピニオンリーダー効果を発揮して、自ら手本を示し、成果を波及させて、大会参加を試みる学生読者を増やしています。

### 三、指導を重視して質を向上

今回大会は5か月近くで102本の応募作品が集まり、全学の9つの学院、32の専攻を網羅しています。当館では学内の中文ベテラン教員を招請して公平、公正、オープンな審査と採点を行いました。何度もの選別を経て受賞作品26本を選出し、証書と賞品を授与。その中から優秀作品「花とイバラと少年」、「書簡と情愛」の2本を選出し、何度も丁寧に指導して決勝戦に推薦しました。今回の応募作品は主題が分かりやすく、その意図に沿って書かれているものばかりでした。大体において文の流れがよく言葉遣いも優美で、適切な表現方法を使ってテーマを鮮明にしたものや、読書体験と悟りが深いものもあり、本学読者の良好な文化的素養が反映されていました。

今回大会では良い成績が得られ、この場を提供して下さった事務局に感謝しております。当館の指導部や本学の教員による貢献と、全学の教員や学生の積極的な参与、支持にも感謝しております。当館は、これからも変わることなく読者の興味を高めるべく務めていきます。



5月「笹川杯本を味わい日本を知る作文コンクール2021」 微信公式アカウント宣伝



6月「笹川杯本を味わい日本を知る作文コンクール2021」 微信公式アカウント宣伝



9月「笹川杯本を味わい日本を知る作文コンクール2020」 決勝一等賞作品を微信公式アカウントから配信



10月「笹川杯本を味わい日本を知る作文コンクール2021」 受賞作品を微信公式アカウントから配信

【图·读书月】经典传承 书香致远 新学习读书月活动节目单请您收好咯！

浙江越秀外国语学院图书馆 9月24日

**“经典传承 书香致远”**  
——图书馆2021—2022学年第一学期读书月活动方案

腹有诗书气自华，  
最是书香能致远。

书香致远是一种氛围，是一种整  
体风貌，是校园文化的集中呈现。

各部、处、室、各学院（部）：  
在倡导“全民阅读”的氛围下，阅读，已然成为了汲取先人智慧、提升个人素养的重要方式。图书馆秉承“和成、育秀”校训，“读者第一”服务理念，助力培养有国际视野的高素质应用型人才及相关专业人才。值此我校建校四十周年之际，特于本学期开展以“经典传承 书香致远”为主题的“读书月”活动，进一步推动校园文化建设，浓厚人文氛围，展现我校大学生精神风貌，提高学习力、凝聚力。现将本次读书月活动相关事宜通知如下：  
一、活动主题  
“经典传承 书香致远”  
二、活动目标  
博览群书，开阔视野；弘扬经典，享受阅读  
三、活动时间  
2021年9月至2022年1月

**03**  
**活动之三：新书展示**

为了让图书馆购买的新书能尽快与读者见面，方便读者借阅，图书馆特在新书展示区滚动式推出新书，向读者提供最新出版的新书、好书，引导和鼓励读者走进图书馆与书为友。  
活动时间：2021年9月—2022年1月  
活动地点：镜湖校区图书馆一楼新书展示区  
榭山校区图书馆一楼中央大厅

**04**  
**活动之四：习近平多种著作导读展示**

为了让读者深入了解习近平总书记的生活经历和思想，树立正确的人生观、价值观、世界观，培养阅读的好习惯，图书馆特开展以“习近平多种著作”为主题的书籍。  
活动时间：2021年9月下旬-2022年12月下旬  
活动地点：镜湖校区图书馆一楼新书展示区  
榭山校区图书馆一楼中央大厅

**05**  
**活动之五：“笹川杯品书知日本征文大赛 2021”征文大赛**

为鼓励中国大学生通过阅读各类与日本相关的书籍，撰写论文、感想、体会等形式的文章，达到互相告知、相互理解、相互尊重之目的。同时，激发中国大学生对日本社会、经济、文化等各方面了解和研究的兴趣，促进中日两国人民之间的友好往来，共建和平世界，特开展“笹川杯品书知日本征文大赛 2021”征文大赛活动，借助图书和阅读促进中日友人相互了解和相互尊重。  
活动时间：9月30日截止

9月「笹川杯本を味わい日本を知る」を「読書月間」微信公式アカウントで告知

【图·征文获奖】重大消息：“品书知日本”2021征文初赛结果揭晓啦！

浙江越秀外国语学院图书馆 1天前

**2021年品书知日本征文大赛**  
**校级获奖名单**

“品书知日本”2021征文大赛初赛结果揭晓啦！

两国 两文化，品书 近友谊

本次浙江越秀外国语学院“笹川杯品书知日本征文大赛 2021”征文大赛活动，受到广大读者踊跃参与，通过阅读各类与日本相关的书籍，撰写论文、感想、体会等形式，达到互相告知、相互理解、相互尊重之目的。同时，激发中国大学生对日本社会、经济、文化等各方面了解和研究的兴趣，促进中日两国人民之间的友好往来，共建和平世界。  
通过专家老师的仔细遴选，层层选拔，共有11位同学的作品获奖。现将比赛结果公布如下：

**获奖名单**

一等奖	项目	作品	姓名
获奖数量与少年	阅读与新媒体1902班	马倩	
	书籍的传递	新闻学1901班	仇晨曦



「笹川杯本を味わい日本を知る作文コンクール 2021」  
学内予選の賞状と賞品

「笹川杯本を味わい日本を知る作文コンクール 2021」

学内予選受賞者リストを微信公式アカウントから配信

- 付録1「笹川杯本を味わい日本を知る作文コンクール 2021」応募作品まとめ
- 付録2「笹川杯本を味わい日本を知る作文コンクール 2021」受賞作品まとめ
- 付録3「笹川杯本を味わい日本を知る作文コンクール 2021」決勝進出作品

## 『伊豆の踊子』を読んで

山東大学（威海）  
東北アジア学院日本語学部 4 年  
初昕蔚

78 年前に川端康成という人が書いた、ある伊豆の踊り子についての物語は、淡く微かな哀愁を帯びています。物語の本筋は簡単で、少年の初恋です。もう少し話すなら、山の薄暗い季節に、大学の予科で学ぶ少年が、上品な旅の中で、美しい踊り子に出会いました。ここまで書けば、いかに品のいいものかは分かるでしょう。湯ヶ島はかなり古風かつ質朴な小島で、山、水、木々があって、気晴らしに必要な景物がおよそそろっています。学生には贅沢ではない景勝地であり、芸妓には芸能で生計を立てるのに適した土地です。

物語はその湯ヶ島から始まります。少年は旅の途中で初対面の踊り子に一目ぼれをしているので、ほぼ初恋の物語だと言えます。「ほぼ」と言うのは、その二人は世間の人々が想像するような睦言を交わして幸福なひとときを過ごし、そして永遠の愛を誓うといったことをまるでしていないからです。彼らは何度か振り返っただけで、あってないような真情を幾筋かの涙で語っただけなので、涙が流れ落ちる間に、青臭くて煙や霧のような少年の気持ちを映し出しています。

日本は島国なので、日本人の腹の底にはうっすらと絶望の気分があふれています。東山魁夷も、村上春樹もそうです。川端康成も当然その例外ではありません。彼は人の気にする初恋を濃厚な日本の情緒で東方の美感たっぷりに染め上げています。またそうした日本人に特有な哀愁、退廃により、文章全体に『北国の春』のメロディーがあふれています。日本の楽曲には音の繰り返しがつきもので、まるでいつも終わりを予告しているかのようです。恐らく踊り子らが弾き語りする歌もそうなのでしょう。

全文を通して燃えるような言葉がなく、人生経験の浅い子供に向いています。まだ 14 歳の踊り子が頭を下げる都度ほほえみ、お辞儀をして、はにかむ瞬間にはえも言われぬものがあり、八重桜の散る中で舞う姿が想像できさえます。

伊豆は東京と異なり、伊豆に東京のにぎやかはありません。奈良とも異なり、奈良の英知もありません。京都とも異なり、京都の昔の趣や余韻もありません。伊豆にあるのは、閑散とした憂鬱と純真な自然ぐらいではないでしょうか。そうした憂鬱や自然はまたおぼろげな初恋にうってつけなので、この物語は伊豆で生まれてこそ情理にかなっていると感じさせるのです。

最後に、この情理にかなった土地で、ちょうどよい季節に生まれた初恋の物語には、やはり盛り上がりがない終わりがありました。「私」は結局やはり帰ってしまい、踊り子と出会ってからの日々の中で、二人はこの薄い紙を破ってしまうことなく、言葉にもしませんでした。「深い意味が厚いことを知り、言葉のない中で憶えている」という古い言葉さながらです。

汚れのない世界  
『宮沢賢治童話悦読選集』を読んで

山東大学（威海）  
東北アジア学院日本語学部 4 年  
姚心語

宮沢賢治は日本の昭和時代初期の詩人、童話作家、農業指導家、教育家、作詞家で、敬虔な仏教徒、社会活動家でもあります。宮沢賢治の時代は一世紀ほど前なので、文明の巨船は止まることなく前進していたかもしれませんが、彼の残した軌道は永久不変のもので、それは汚れなき心の追求、清らかな魂へのあこがれ、そして夢を守り抜くという馬鹿げた期待。そうしたものが彼のペンを通じて感動の物語に変わり、私たちの胸の内を流れ、心を洗い流すのです。

『宮沢賢治童話悦読選集』はだれもがよく知っている童話 7 作品を精選したもので、『注文の多い料理店』、『猫の事務所』、『ゼロ弾きのゴージュ』、『よだかの星』、『雪渡り』、『どんぐりと山猫』が収録されています。作品は内容が清らかで含蓄があり、見事な思想や発想に満ちた童話の世界を読者に見せてくれます。日本語の原文は文字が精練され、文章がなめらかで、読者はその精妙な文章を鑑賞してすばらしい物語を味わえるだけでなく、綿密に読むという方法を通じて日本語の読解レベルを高めることもできます。

ここでは『猫の事務所』を例に、この清らかな世界のカーテンを開こうと思います。物語の舞台は猫の事務所です。猫に関わる各種の事務を処理する最高機関で、猫という猫が何としてでも入りたがるところです。しかしそこには竈猫がいます。竈猫は猫の世界で卑しまれる最下位の序列で、いつも竈で寝ているためにすすけて汚いので「竈」の字がついています。他の猫は清潔で元気なつもりなので竈猫を相手にしません。また竈猫は努力すればするほど他の猫の嫌悪を招き、下心があるのでとは疑われていました。

そのため竈猫は他の猫から中傷やデマなどの嫌がらせを受け、孤立してしまいます。竈猫はついに寒さを忍んで他の猫と同じように外で寝るようになりますが、凍傷にかかって仕事を休むほかなくなりました。すると同僚たちはまた利用して大げさに言い立て、竈猫を事務所の隅に追いやりました。最後にはライオンがやって来て、この事務所が解散させられてしまいました。

宮沢賢治は同情に満ち、弱小なものを愛護する作家です。彼の描く竈猫は底辺で暮らす人の縮図で、彼らが自分を変え運命を変えようと努力しても、社会が機会を与えようとしません。いわゆる上層の人が彼らと同じ仕事をして、彼ら以下の仕事をしてでも、なお彼らを差別します。底辺の人々は永遠に黒猫事務所のようなところに溶け込めませんが、上層部にはさらに上があり、事務所が根本から否定されて、竈猫がそれまでしてきた努力も水の泡になってしまうのです。

宮沢賢治の童話の世界は現実世界に対する再考に満ちており、主人公も多くは底辺で暮らす人の縮図です。物語には現実社会の闇や風刺も多く出てきますが、感動を呼ぶまごころとぬくもりがいっぱいで、またその細やかな筆致により、その世界の清らかさと透明さが見られるのです。

## 『古事記物語』を読んで

山東大学（威海）  
東北アジア学院日本語学部 4 年  
李文心

『古事記』は日本で最も古い文学作品です。諸神の出現から書き出され、日本の国土の起源、天皇の家系について語られています。同書では天皇が太陽神である天照大御神の後裔とされ、神武天皇から推古天皇まで書かれています。『古事記』は線形に記述する方法で、日本以前の「歴史」を刺し連ねています。

見たところ、『古事記』で最も感動的なのは凋落の美——白鳥伝説と軽皇子の夭折です。白鳥伝説は『古事記』で最も優美なくだりで、倭建命の魂が八尋の白鳥に姿を変え、海の方へと飛び立ちます。魂が白鳥に変わって海に身を寄せるとは、なんと優美な描写でしょうか。大海は無限の自由、白鳥は魂の美しい姿です。生命の憂いも心配もない自然な状態は死後にしか得られない、というこれほど精緻な悲劇は、質朴な古人だからこそ書けたのでしょう。白鳥伝説が死の悲劇だと言うならば、軽皇子の夭折は生の悲劇です。軽皇子は同母妹の衣通姫を愛してしまいましたが、兄妹関係は必ず古い哀愁を含んでいるものです。彼はその行為により世人の裏切りを招き、その結果として皇位を失いました。しかし兄妹は流刑に遭っても自己を裏切ることをよしとせず、最終的には情死しますが、冷酷で偽善的な世人を間接的に嘲笑していました。

『古事記』は日本で最も優美な詩歌で、後世の日本人を啓発したと言えます。『古事記』の後にも後の世まで伝わる傑作が多く誕生しました。柴式部の『源氏物語』、三島由紀夫の『豊饒の海』はいずれも並み外れて優美な日本の神話の再現です。『古事記』の小さい読者である私も、繊細な美しさを持つ日本の神話に深く動かされています。

## 『川端康成集』を読んで

山東大学（威海）  
東北アジア学院日本語学部 4 年  
王冠

川端康成の小説は初めから作品の意味と表現手法を求めておらず、それによって連綿と続く気品が生じています。文脈は非常に流暢で、とてもはつらつとして見えます。

『雪国』を読んだときの気持ちには微妙なものがあり、ある種の喪失感がありました。さらに愛情、大人の世界に対する疑いと困惑については、個人的に経験不足のため、理解できない部分もありました。島村といい駒子といい感情移入できなかった点もあります。大雑把には葉子のイメージが最も明白で、純潔さを代表しています。駒子と葉子の共通点は、純潔さです。葉子には少女の純潔さがあり、駒子は愛へのあこがれに純潔さがあります。また、二人には自らの悲劇的な一面もあります。島村が葉子と火花を散らしても、彼らの間には何もありません。最後に駒子が島村と共に明るい銀河の中で消えてなくなるのを見たとき、彼らは一緒にいても一緒にはなれないのだと思いました。実際はそのすべてが常識に合っています。火花はそう簡単に散らせるのではなく、島村と駒子の身分と性格から、彼らが一緒にはなれないことは運命です。

『雪国』と『古都』の二作品はいずれも美の作りに気が配られています。前者で見られ

るのは日本伝統文学の悲しさと冷やかな美しさが互いに結合した余情の美で、いくぶん艶やかで退廃的な雰囲気です。後者で見られる美は完全に異なる情緒で、明け方の淡く微かな日差しのように、あっさりと、清新で、暖かく、幸せで、また背景ともども古風な雅がしみ込んでいます。最もうっとりさせられたのは『古都』の終わりで、心の底から言葉にならない悲しい情緒が湧き出しました。その悲しみは普通の悲惨な小説と違い、淡く微かな憂いと悲しみが空気中のあらゆる隙間に充満して、一つ一つの細胞にしみ込み続けます。読んで、心の中の静かさだけを感じました。

とにかく、川端康成の小説はオリーブの実のように味がとても薄く、じっくり咀嚼しないと見落としかねないほどです。彼の小説は独り言のように一人の孤独さ、一人の思想を描写していますが、まっすぐに一人の魂の深い所まで入り込みます。一文字一文字が静かな磁場になって、あの物寂しくて美しい景色、か弱い少女、孤独な青春、思想のある雲が……

### 『川端康成集』を読んで

山東大学（威海）  
東北アジア学院日本語学部 4 年  
何雨珊

とても美しく、その美にはいくばくかの寂しさがある、というのが最初に川端康成を読んだ感想です。読んだのは比較的早く書かれた短編小説『伊豆の踊子』、続いてそれよりやや新しい『雪国』です。それから『千羽鶴』、『みずうみ』、『眠れる美女』、『古都』といった中期、晩期の作品も次々と読みました。しかしいつもまだ言葉にできないと感じてしまい、感想文を綴るのが遅くなってしまいました。

書かなければならないというのであれば、自分が思う川端作品は、歳月に従って、初恋の清らかな美の描写から、次第に肉体の老いと死の醜さへと変わっていきますが、しかし依然として少女や若い女性の清浄あるいは美しい体を使ってこそ、時間の流れ去る中で徐々に古びていく存在に触れられるのです。

初期の作品『十六歳の日記』では、彼の祖父が世を去る前の時間が写実的な筆致で記録されています。幼くして両親を亡くした彼を引き取った祖父が亡くなったのは彼がやっと十五歳のときで、彼はついに孤児になってしまいました。川端は『十六歳の日記』のあとがきの中で、「ああ不幸なるわが身、天にも地にもただひとりになる」と書いています。ここから、「孤独」が川端康成の一生の創作の根源だろうと分かります。最初の写実的な筆致から、その後のさらさらと流れる水のような初恋まで。『伊豆の踊子』には淡く微かな感傷が浸透しています。

「私は涙を出委せにしていた。頭が澄んだ水になってしまっていて、それがぼろぼろ零れ、その後には何も残らないような甘い快さだった。」（『伊豆の踊子』 末尾）

「彼は門に立って焼跡を見た。積重なった紙の灰が潤ひを吸い込んで静かに死んでいた。」（『静かな雨』 末尾）

川端の言外の境地はどんどん美しくなっていく、末期の作品まで続いていきました。たとえ醜い事物や衰えた人物を描写するときでも、言葉で再現しようのないある種の詩情が読み取れます。

『みずうみ』の結末で、川端康成は抽象的な筆致で現実と幻想の境界をぼかし、ホタル、湖、青草、赤ん坊などのイメージの衝突で、現実と記憶の境界をぼかしています。ここで



ついに、幻と現実は本当に意味深長だという美醜に対する具体的な解釈が成立しました。肉体的な衰えのみならず、別のある種の衰えが川端康成の作品中に充満しているのです。『千羽鶴』と『みずうみ』は階層の没落、戦前の貴族や富豪らの没落を扱っています。『古都』にいたっては、昔の斜陽が京都の全体に降りかかっています。斜陽はその名の通り、古都の中で伝統の紡織業は夕暮れの日の光のように没落しかけ、取って代わったのが異国から持ち込まれたラジオ、化学繊維、夜を照らす「蛍光灯」。感傷的になるのは避けられません。新しく生まれた世代の人物である菊治、太田文子、苗子、銀平はいずれも孤児として描かれ、濃霧の明け方の中で方向も分からず歩いています。

## 『日本の伝説』書評

山東大学（威海）  
東北アジア学院日本語学部 4 年  
黄凱源

日本人の根源を主張するには、日本の神話の伝説に言及せざるを得ません。古来、庶民の口頭で語り伝えられている伝説の物語は正式な歴史文書に記録が残っていないので、多くの「暗号」が隠されてもいるからです。たとえば庶民の生活に暗い影を残す痩せた土地、そうした苦勞に誘発された悲惨な事件、人類の内心に潜む凶暴さや残虐さ……民俗学の知識だけでは説明できない人心の間は、隠喩に形を変えて巧みに過去の伝説の中に含まれています。これらの伝説の中では、もともと日本人が持つ感受性、死生観、無常観、風俗習慣といったものが、くっきりと鮮やかに生き生きと描写されています。

『日本の伝説』シリーズ叢書は日本の四国、北陸、南九州、名古屋、中国などの地区の神話や伝説を紹介しており、内容が豊富で、詳しい解説があります。文体は「物語」類に偏っており、書き言葉すぎる上かなり珍しい字もありますが、決して読解には影響しません。中でも印象深いのは第十五巻の南九州篇です。物語の多くは九州南部の鹿児島県、つまり封建時代の薩摩藩で生まれています。のみならず、南九州地区とは言いながら、九州中部の阿蘇山が出てくる話もあります。読む前に日本の地理を理解しておく、文章を理解するうえで助けになります。

以上が『日本の伝説』の書評です。

2021 年 10 月 10 日

## 永川成基『彼女と彼女の猫』（部分）を読んで

山東大学（威海）  
文化伝播学院  
鄭劭雯

簡単に言うと、『彼女と彼女の猫』は4つの章節を通して、猫を飼っているヒロインの人生の一部分を述べたものです。口下手で結婚を恐れている美優が捨てられていたチヨビを拾い、……両親が離婚して新しい家庭を作ってから一人暮らしを始めた芸術家の麗奈は

病弱な小猫のミミを受け入れ、……親友を失ったショックと自責の念でひきこもりになった葵がミミの娘クッキーに癒やされ、……家庭のせいで志を失ってもなお自由を尊ぶ「食客」を受け入れたクロ……物語を補うため、同じくだりをヒロインの一人称で述べるだけでなく、猫である主人公の視点も交えています。「猫の目」を通して女性らの勇気ある生活を観察していることで、都市の若い人の生存状態と人生の選択に直面したときのさまざまな心理状態をうっすらと感じ取り、生活のために奮闘する若い世代の負けを認めないプラスのエネルギーに感動しました。

日本の文化の中で、猫はきわめて重要な位置を占めています。日本人には猫に対する特殊な感情もあり、文学、アニメ、日常生活などの面でこと細かに体现されています。猫がある種の文化現象になっているのは、日本民族は長期の生活の中で、自分の感触を猫で表現することに慣れ秀でているためです。猫を借りて自分のあこがれと精神の慰めを託し、または自分の抑えていることや不満を発散しているのです。

猫には何もありませんが、人に慰めを与えられます。

### 川端康成『千羽鶴』を読んで

山東大学（威海）  
東北アジア学院南北朝鮮専攻4年  
馬心蕊

『千羽鶴』で菊治が自ら埋め合わせをしていくのは、宿命との戦い、反抗のみならず、やはり感情の力と決裂する勇気を獲得したことが一番だと思います。作中に四人の女性が出てきますが、ちか子は世俗的な美、太田夫人は頹廢的な美、文子とゆき子は純潔な美のイメージで、それぞれ菊治の救いになっています。ゆき子が菊治を癒やしたと言うならば、太田夫人は一時的に菊治を罪悪感から抜け出させ、文子は彼の埋め合わせを徹底的に助けています。物語の最後で、文子は菊治に贈った志野茶碗を割って愛を終わらせることを選び、彼の父と彼女の母が残した罪を抜け出して、過去を忘れてやり直せるようにと願いました。志野茶碗の破片は近親相姦の宿命の消滅を意味し、また新たな生と希望を示しています。二人は最後に心の圧迫と束縛を打ち破って、魂の昇華を獲得したのです。耽美の感情が人間性の輝きを放ち、黒雲の中の人にくらかの温かみを見せてくれます。改めて前に向かう決心で、心が本当の解脱と浄化を得られたのです。

なので、いつであろうと、どのような苦難に遭おうと、たとえ心に暗雲が立ちこめていても、なお好ましい事物と心を追い求め、現状を変えろという信念を堅く持ち、上を向く姿勢で、絶えず努力し千羽の鶴が舞い上がる姿を追っていき、作者が描く明け方4時でも眠っていない海棠の花のように、希望を持って、悲しみつつもしぶとく咲き誇るべきなのです。

## 進歩の階段 交流の橋

西安外国語大学  
図書館 図書目録担当 馮嬌



図書館スタッフで、また日本語専攻の卒業生でもある私は、日本語の図書を読むことがたいへん好きです。

学生の頃、日本語の本に触れられるのは大学図書館だけで、目にする種類も限られていました。いくばくかお金を集めてネットで本を買おうとしても、日本語の原書は本当に高く、しかもあまり流行していない本は多くが買えませんでした。

本が好きなので今の仕事に就き、前学期から日本科学協会の本学図書館に対する図書寄贈の連絡窓口を担当しています。メールボックスの通知が出るたび、「10-11-32」のような文字列で始まる件名を目にするたび、感動して急ぎメールを開きます。書籍リストを見るのはブラインドボックスを開けるようで、図書目録の中にすばらしいものが数多くあることを強く期待します。図書目録の内容はとても豊富で、学生みんなが好きな小説、文化、芸術、社会科学の類だけではなく、先生方が心から愛する言語学関係の専門書もあり、さらには多くの全集や県誌などの地方の叢書まであります。これらは研究にも収集にも価値があり、買いにくいものです。こうした本を収蔵して読者に提供できることは喜ばしいことです。

頂いている本は日本全国の個人、高校、大学、出版社、書店その他の社会機関から来ています。これらの本に目録を作成して収蔵するときにはいつも、寄贈者の皆さんの心の声に思い至ります。前の図書寄贈活動では、寄贈図書が日本から本学に届く全過程に系統的な理解ができ、また数名の寄贈者の文章も目にしてとても感動しました。これらの本は一冊一冊が文化交流の使命を与えられており、寄贈者の真心を乗せています。きっと本学の読者達は、これらの書籍を読むことを通じてより多くの収穫ができるでしょう。

最後に、日本科学協会と寄贈者の皆さんに心から感謝を申し上げます。頂いた本は必ずや当館で価値を発揮します。

## 流動する書籍、流通する文化

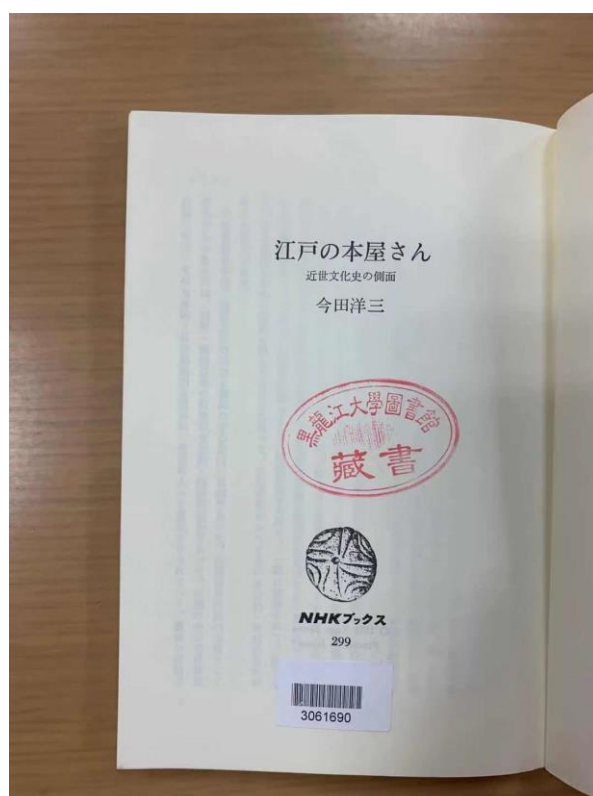
南開大学  
日本語学部 副教授 蔣雲斗

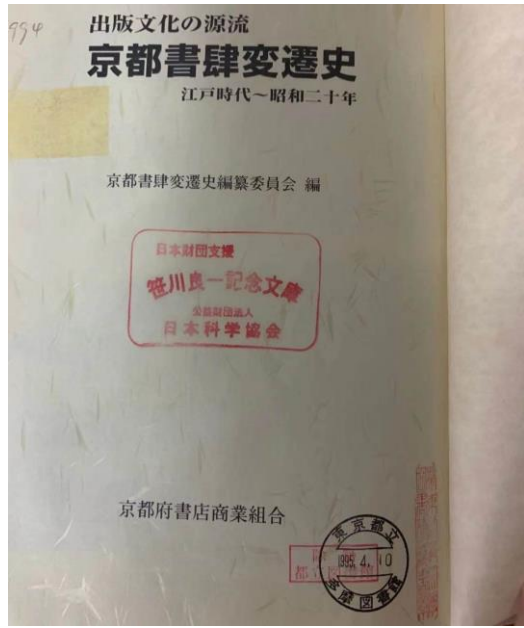
降って湧いたコロナ禍で我々の生活方式は変わりました。日本文学の教育と研究に従事する私にとって、焦眉の急は日本語研究資料をいかに獲得するかです。コロナ禍では、中国大学人文社会科学文献中心センター各館相互利用システム（CASHL）が研究に便利で、ネット上で申請すればCASHL加盟大学の日本語文献を入手できます。興味深いことに、黒龍江大学、華東師範大学、暨南大学、山東大学、復旦大学などの大学から南開大学に借り受けた図書の多くが日本科学協会からの寄贈図書でした。これら全国各地からやって来た本が、CASHLを通じて私の机に届いているのです。日本科学協会が主催する各種大会へ参加するよう日頃から学生に指導しており、協会の先生方とも長年の友情があるので、協会寄贈図書の印を目にして非常に興奮しました。

私の研究の課題は、中国の古代の典籍の日本における広まりと影響です。古代には大量

の中国の典籍が日本に伝わって、日本の文学に対して極めて大きい影響を生じました。目下この書籍の流通という課題を研究するため、全国の各大学図書館の相互利用により研究資料を借りており、書籍の流動の重要性を深く感じています。これらの日本語の文献は多くが日本科学協会の寄贈図書です。これらの中国にやって来た日本語の書籍はCASHLを通じて全国各地の教員や学生の学習や研究に便宜を提供しており、これらの流通している書籍はそれぞれ文化を載せた小舟のように、図書館を通じて全国の大学を移動しています。日本科学協会は1999年から中国の80余りの大学に日本語の書籍を寄贈しており、その数は今や398万冊以上です。日本科学協会の先生方は恐らくこれらの書籍の利用率と閲覧数を統計したことがないでしょう。こうした統計データはもはや重要ではないようです。これらの書籍は本棚で静かに必要とする読者を待っており、中国全土の大学図書館を動いているのですから。これらの寄贈図書の流動性の強さは、日本科学協会の先生方が寄贈されたときに思い付かなかったかもしれません。

末筆ながら、日本の各大出版社、蔵書機関、公益団体そして中日の友好交流に関心を寄せる人々の寄贈図書に感謝を申し上げます。こうした団体や個人の寄贈が重要なのです。日本科学協会で図書寄贈を担当されている顧文君先生、孔曉霞先生、阿羅美奈子先生に感謝を申し上げます。中日の図書文化交流のために彼らの行った何年もの貢献に感謝しております。また南開大学図書館で相互利用センターを担当してくれている張紅莉先生、そして世に知られず各大学図書館の相互利用サービスに従事し、幅広い読者に親切にサービスしている先生方にも。





## ◆中国における活用促進活動

寄贈先大学の公式 SNS（オンライン）や図書館内（オフライン）のプラットフォームを利用し、寄贈図書の紹介をメインに、寄贈の流れや日本の寄贈者からの声、日本科学協会、日中未来共創関連の事業について紹介し、寄贈図書の更なる有効活用や認知度の向上を図る。2021 年度は、新型コロナウイルスの影響を受け、オンラインをメインに開催した。

### 1. オンライン：SNS 等を活用（4 大学、13 回）

#### (1) 西安外国語大学 図書館 2021 年 5 月 27 日（公式 Wechat）

寄贈図書、寄贈の流れ、日本の寄贈者からのメッセージの紹介

<https://mp.weixin.qq.com/s/TMuzzocV-NZFCRj30enrIw>

日中未来共創プロジェクトの事業の紹介

<https://mp.weixin.qq.com/s/4ck9zTk4-IRe1kjcotEz0Q>

#### (2) 北華大学 図書館 2021 年 6 月 24 日（公式 Wechat）

寄贈図書の紹介

<https://mp.weixin.qq.com/s/dh0Qj-U9SzIjcGDFCIDjmg>

日中未来共創プロジェクトの事業の紹介

<https://mp.weixin.qq.com/s/PkzIr4mcVpDHVI11AheHLQ>

#### (3) 北京大学 図書館 2021 年 7 月 23 日（HP）

日本科学協会、日中未来共創プロジェクト、寄贈図書、寄贈の流れ、日本の寄贈者からのメッセージの紹介

<https://www.lib.pku.edu.cn/portal/cn/donation/jzxw/202107230630>

#### (4) 上海外国語大学 日本語学院 2021 年 6 月～現在 約 1 か月に 1 回で更新（公式 Wechat）

2021 年 6 月 21 日

日本科学協会、日中未来共創プロジェクト、寄贈図書の紹介

<https://mp.weixin.qq.com/s/BicomqyDEo8o7YNl4TY0jg>

2021 年 8 月 23 日

寄贈図書の紹介

<https://mp.weixin.qq.com/s/zkR7hVbVgVBCkWAHqWevgQ>

2021 年 11 月 7 日

寄贈図書、日本の寄贈者からのメッセージの紹介

[https://mp.weixin.qq.com/s/gSla6FWP1ZcJfqV\\_DRzLHQ](https://mp.weixin.qq.com/s/gSla6FWP1ZcJfqV_DRzLHQ)

2021 年 11 月 13 日

寄贈図書の紹介

<https://mp.weixin.qq.com/s/ymEfEL1lZswk-G3SdP4usA>

2022 年 1 月 18 日

寄贈図書、日本の寄贈者からのメッセージの紹介

<https://mp.weixin.qq.com/s/gYZ08isDPBNCpN67IovyMA>

2022 年 3 月 14 日

寄贈図書の紹介

[https://mp.weixin.qq.com/s/0h\\_IBXITp\\_LpQGYNhNhlA](https://mp.weixin.qq.com/s/0h_IBXITp_LpQGYNhNhlA)

2022年3月21日

寄贈図書の紹介

<https://mp.weixin.qq.com/s/AdRU1jAzAVnc00Yiv8QUlg>

2022年3月22日

寄贈図書の紹介

<https://mp.weixin.qq.com/s/U8X1rdOUpgNnujE7tWSCSw>

## 2. オフライン：図書館内で寄贈図書展を開催（1大学、1回）

吉林外国語大学 図書館 2021年5月23日～6月13日

## 3. 活動の様子

### (1) SNS 等のスクリーンショット



01

落語でわかる江戸の暮らし3

江戸のリサイクルと科学技術

竹内誠 学研教育出版

《通过落语了解江戸生活3

江戸的可循环与科学技术》

江戸の町は、

上海外国語大学図書館公式 Wechat



『享受季节 可爱日式糕点』山崎彩 学习研究社

『季節を楽しむ かわいい和菓子』小语种阅读室TS972.116 1J

这是一本介绍以暖色和自然为主题的可爱日式糕点菜谱。通过这本菜谱可以做出豆沙糕，甜馒头等非常正宗的日式糕点。还收录了桃花节，万圣节，圣诞节等节日糕点。

北華大学図書館公式 Wechat

## 日本科学协会赠书

日本科协简介

赠书流程

赠书展示

赠书者的心声

竹内好全集；筑摩书房 1980年代出版



日本文学评论家，中国文学研究家竹内好的著作集。

### 北京大学图书馆 HP

#### 赠书者的心声



再度访华

日本高中生  
井内英人

今年春天，新学期将至，家中做了大扫除。扫除即将结束时，妈妈对我说：“那个也拜托你啦。”“那个”指的是放在角落里闲置了很久的两个纸箱。我曾 在上海生活了三年，这两个纸箱是我离开上海返回日本时，通过海运寄回来的。回国后的两年，它一直在角落里，从未拆封。我小心翼翼地拆开后发现，里面装满了我读过的书。妈妈告诉我，当时她觉得这些日语书在国外难以入

### 西安外国语大学图书馆公式 Wechat



